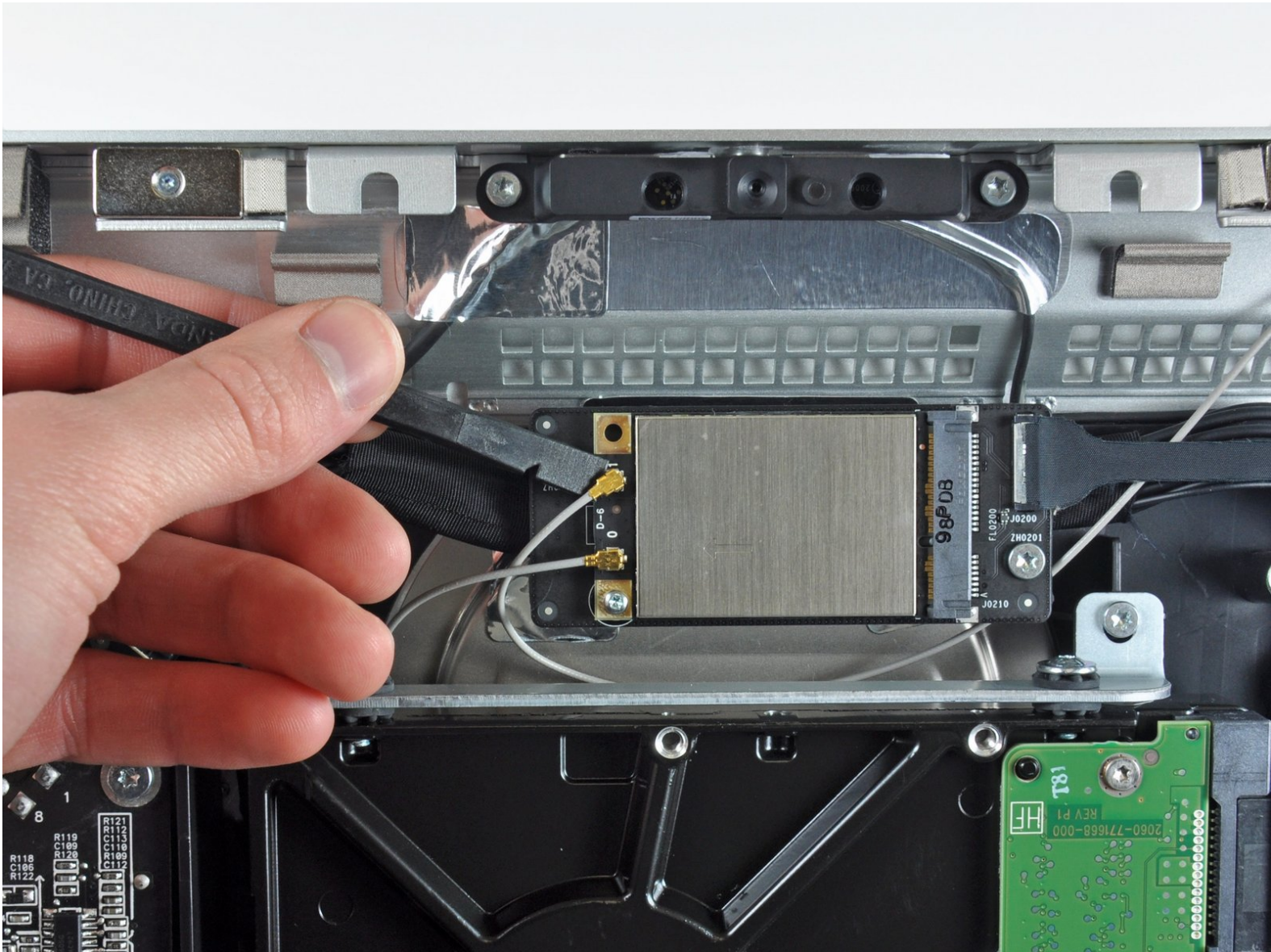




iMac Intel 21.5" EMC 2308 AirPortカードの交換

Wi-Fi接続用のAirPortカードを交換します。

作成者: Andrew Bookholt



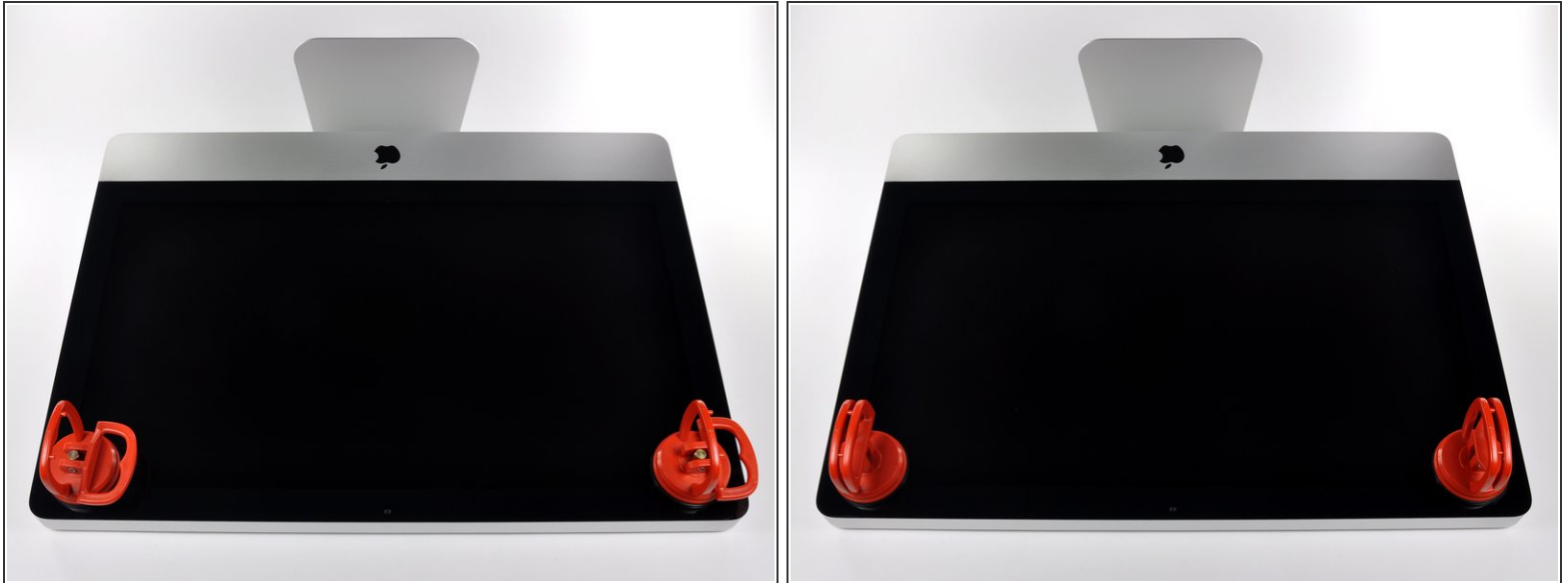
はじめに

Wi-Fi接続用のAirPortカードを交換します。

ツール:

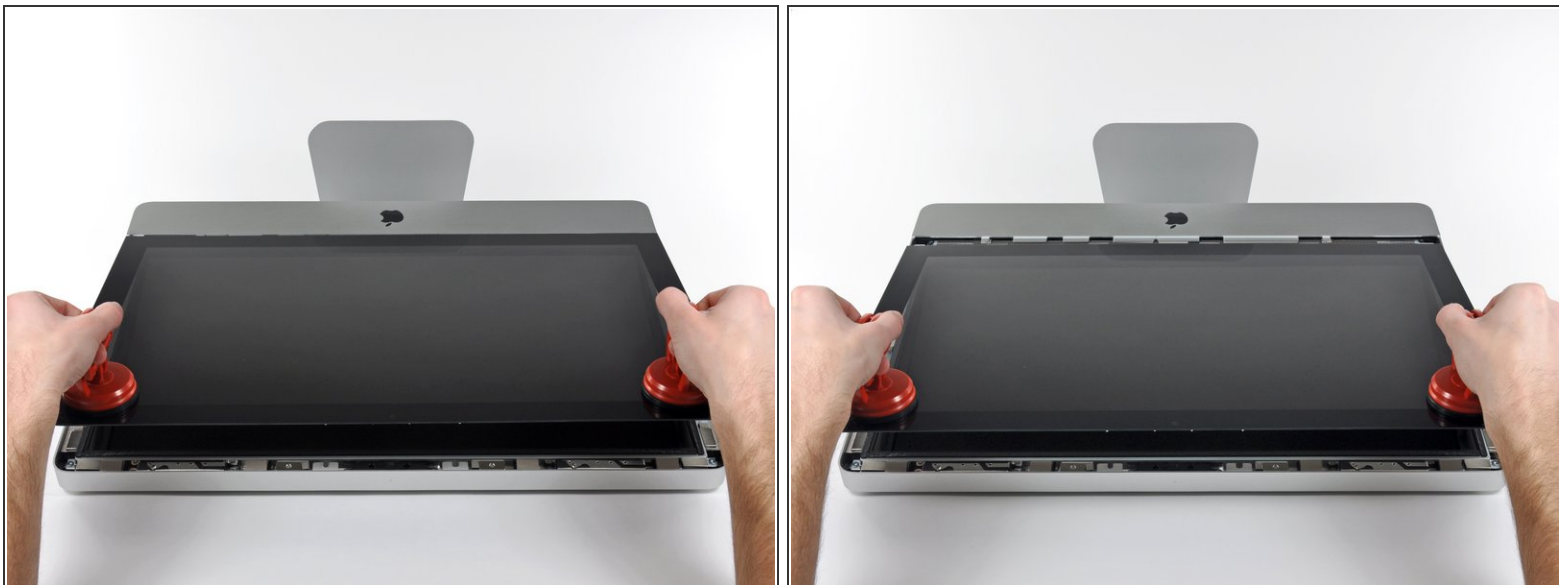
- 高荷重用吸盤カップ(2個セット) (1)
- スパッジャー (1)
- T10 トルクスドライバー (1)
- T6トルクススクレュードライバー (1)

手順 1 — ガラスパネル



- ① 作業を始める前に、iMacの電源を切り、画像のように本体を倒して、柔らかい表面上に載せてください。
- ガラスパネルの上部コーナーの2箇所に吸盤カップを取り付けます。
- ① iFixitが販売している[吸盤カップ](#)を取り付けるには、まず吸盤カップの持ち手ハンドルをガラスパネルの表面に対して水平になるように上げてください。ガラスに吸盤カップを軽く装着して、もう一方のハンドルも平行になるように上げてください。
- 吸盤カップがうまく装着しない場合は、ガラスパネルと吸盤カップを中性洗剤などで綺麗に拭き取ってください。

手順 2



- ゆっくりとガラスパネルをLCD表面に垂直になるように持ち上げて、スチール製のマウントピン
- ガラスパネルをiMacの底側端から引き抜き、丁寧に脇に置いてください。

☑ 再組み立ての際には、ガラスパネルの内側やLCD表面を綺麗に拭いてください。デバイスの電源を入れると、ほこりや指紋が内部に閉じ込められ、視界が遮られてしまうことがあります。

手順 3 — ディスプレイ



- アウターケースからディスプレイを固定している8 mm T10トルクスネジを8本外します。

① 最後の2枚の画像はディスプレイ両側の詳細です。

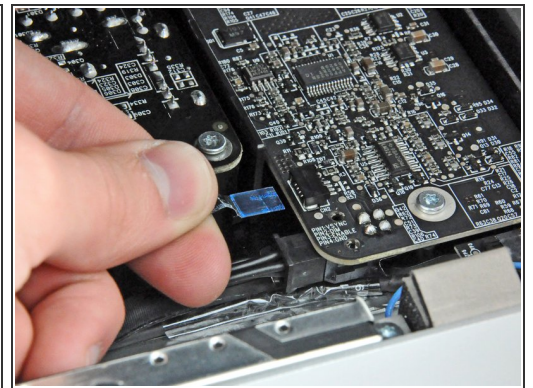
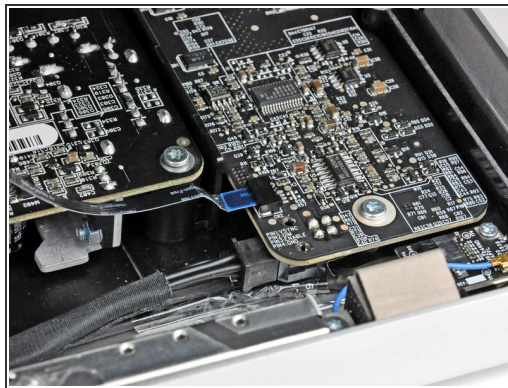
手順 4



- アウターケースからディスプレイ上部端をわずかに持ち上げます。

⚠ あまり高く持ち上げすぎないでください。ロジックボードとディスプレイは数本のケーブルで繋がったままです。

手順 5



- iMacの左上隅付近にあるLEDドライバボードのソケットから垂直の同期リボンケーブルを引き出します。

i 垂直の同期リボンケーブル端はZIFになっていますが、ソケットにはロックや固定フラップが付いていません。ケーブルをソケットからiMacのオプティカルドライブ側に引き抜いて、LEDドライバボードから外します。

手順 6



- LEDバックライト電源ケーブルをLEDドライバボードから接続を外すため、ディスプレイをアウターケースから外します。
- ⓘ コネクタをソケットから引き離しながら (iMacの下端に向かって) ロック機構を押し下げて、LEDバックライト電源ケーブルの接続を外します。

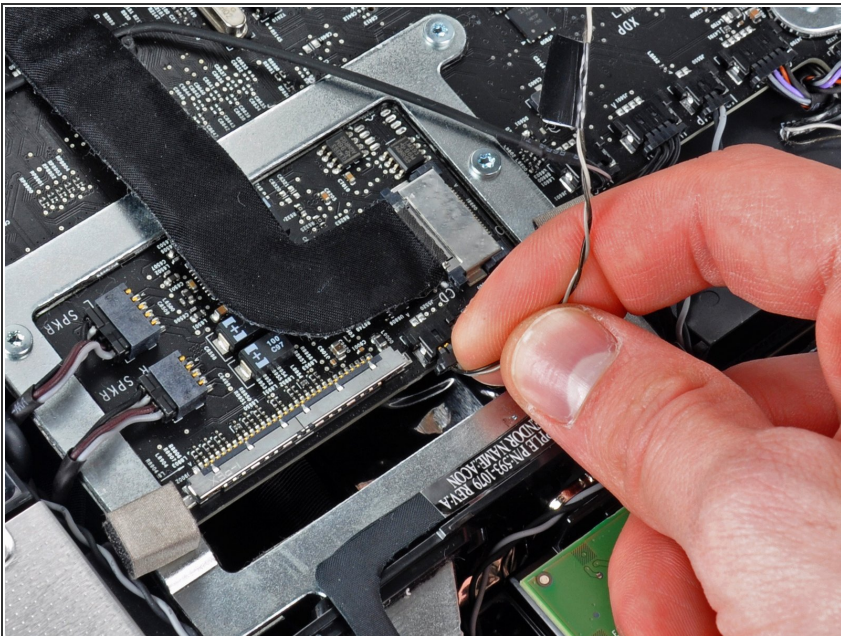
手順 7



- ロジックボード上のソケットからディスプレイデータケーブルコネクタの接続を外すため、2つのコネクタケーブルのアーム両側を掴みます。
- ディスプレイデータケーブルのコネクタを、ロジックボードのソケットから引き抜きます。

⚠ このケーブルは簡単にダメージが入ってしまうため、ケーブルの接続を外す時、再接続するときはご注意ください。

手順 8



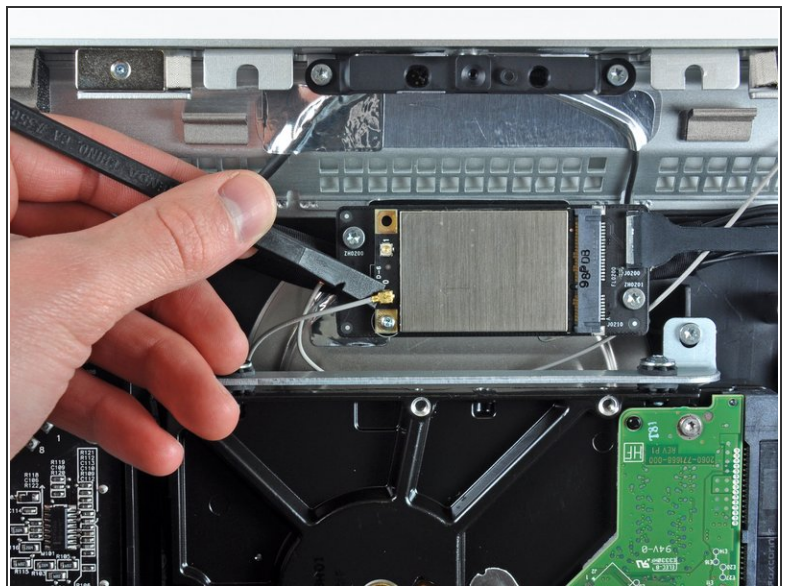
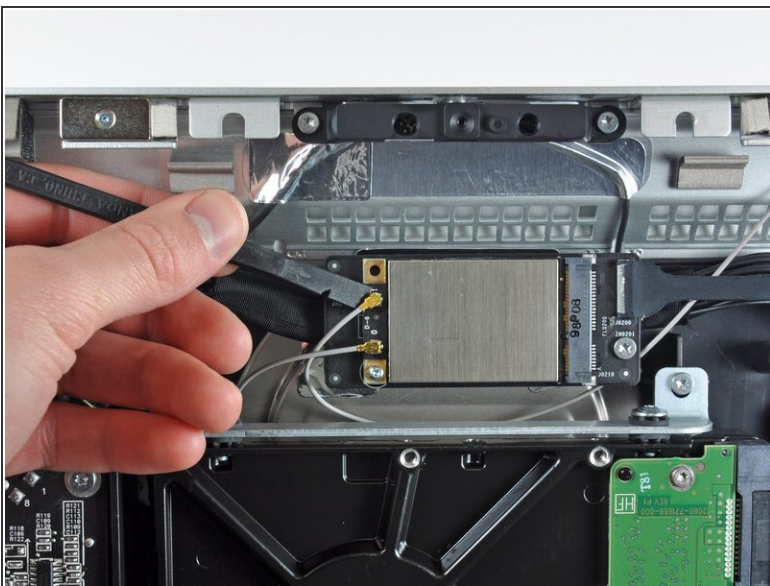
- ロジックボード上のソケットからLCDサーマルセンサーケーブルのコネクタを外します。
- ① 作業完了後に、ファンがフルスピードで回転している場合は、この接続またはハードドライブのサーマルセンサーケーブルを点検してください。

手順 9



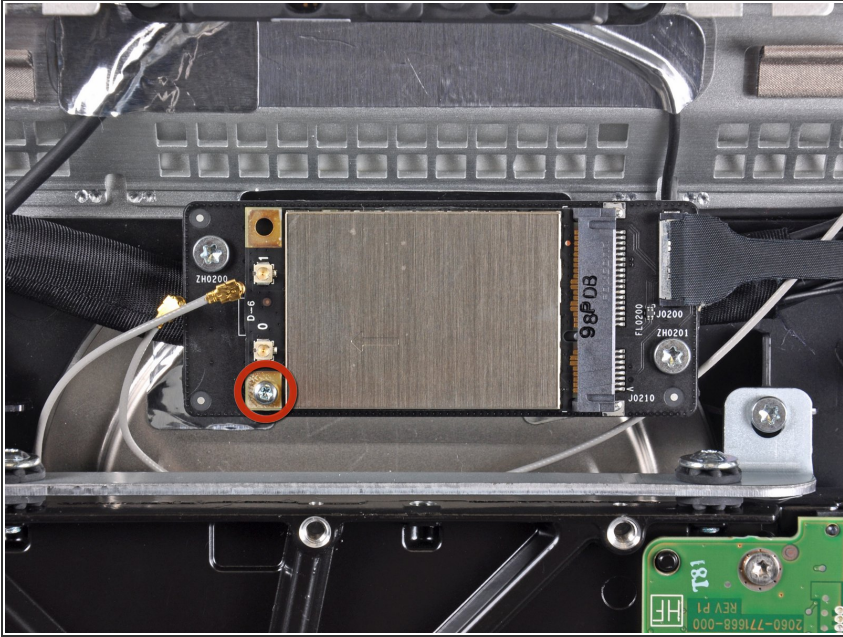
- iMacの上部端に向けて、ディスプレイを丁寧に引き抜いてください。そしてアウターケースから持ち上げて取り出します。作業中、ケーブルが引っかかっているか確認してください。

手順 10 — AirPortカード



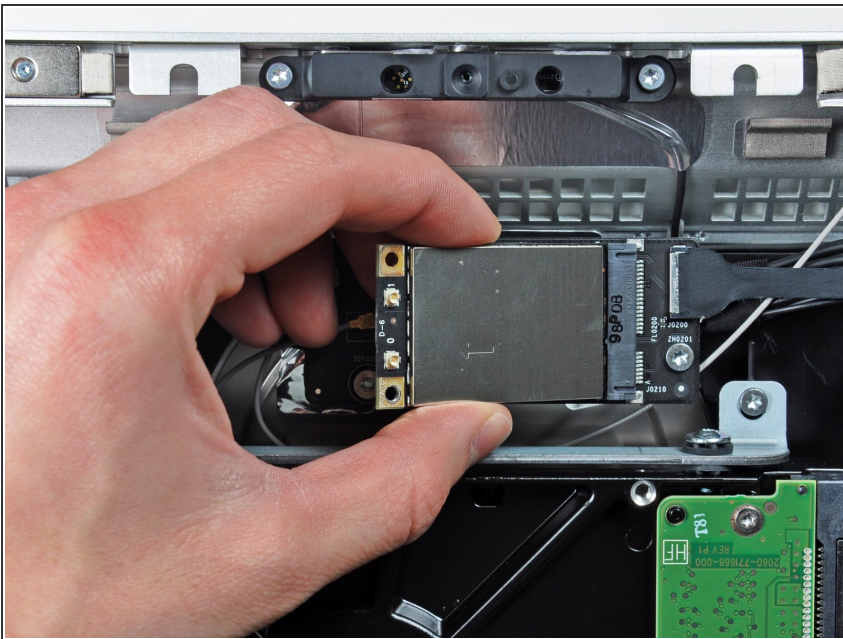
- スパジジャーの先端を使って、AirPortカードからAirPortアンテナケーブルのコネクタ両方を引き抜きます。

手順 11



- AirPortカードのソケットにAirPortカードを固定している5.3 mm T6トルクスネジを1本外します。

手順 12



- AirPortカードをソケットから引き抜いたら、iMacより取り出します。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

